



古くからの歴史を持つ大胡地区。「大胡」の名の由来は、上野三碑の一つ「山ノ上碑」に刻まれた「大児臣」によるといわれています。縄文時代の遺跡や古墳も多く、中世には大胡城が築かれました。今回は貴重な文化財と豊かな自然に恵まれた大胡地区を歩いてみました。

スタート地点は上毛電鉄大胡駅。昭和3年の開業当時の姿をとどめている貴重な近代化遺産として、駅舎や電車庫、変電所などの施設が国の登録有形文化財になっています。

駅から県道藤岡・大胡線を北へ行くと、

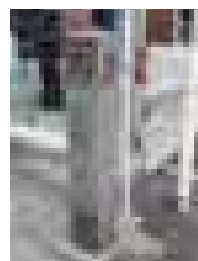


多くの文化財が駅から近い場所に集中している大胡地区。歩いて巡るのにぴったりの場所です。

前橋 ウォーカー



大胡地区



大胡宿の道しるべ

県道渋川・大胡線との交差点手前に大胡宿の道しるべが建っています。かつては宿場町であり、交通の要地でもあったことがうかがわれます。

荒砥川に沿って少し上り、左に折れると大胡神社の入り口が見えてきます。石段を上り境内に入ると目につくのが、本殿手前のムクロジ。樹齢300年以上で、樹高は25mに達し、市の文化財に指定されています。また境内は多くの木々に囲まれています。

すので、この夏涼を求めて訪れてみてはいかがでしょうか。

いつでも練習の成果を出し切りたい



県小学生総合体育大会で優勝

内山 愛玲さん 10歳
青柳町

流大会への切符を手に入れた。

「初めての全国大会で少し緊張しています。目標は練習の成果を出し切って入賞すること。わたしより速い人がたくさんいると思いますが、一生懸命頑張ります」

幼稚園のころからフィギュアスケートやラグビーもプレーするなど、体を動かすことが大好き。また、休日にはお菓子作りを楽しむという一面も。将来はおいしいケーキを作るパティシエになりたいという。

「チョコレートケーキやドーナツが得意です。わたしの作ったケーキでみんなを笑顔にできるといいな」

スポーツにお菓子作りにと、何事にも全力でチャレンジする内山さん。全国大会でも素晴らしい走りが期待できそう。

クローズアップ



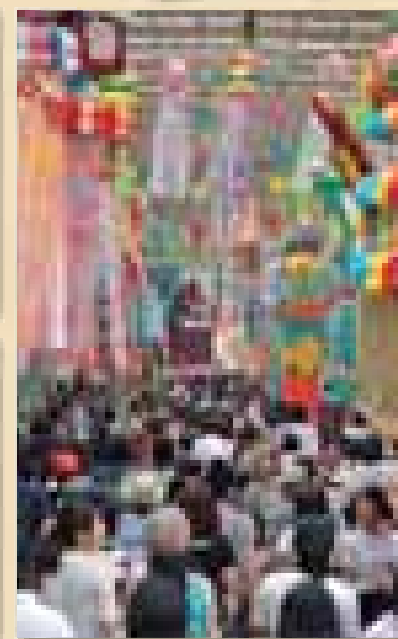
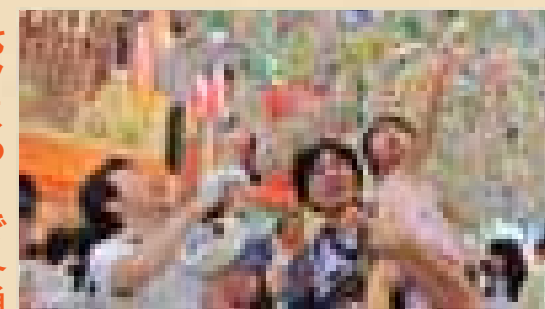
道の駅ふじみがオープン

7月24日、赤城山観光の玄関口に位置する道の駅ふじみがオープン。群馬大生によるオープニングファンファーレに続き、テーブルカットや各種イベントが行われました。温泉や農産物直売所など赤城の魅力がたっぷりの道の駅ふじみ。ぜひ、お越しください。



子どもとの交流を楽しむ

7月9日・10日に前橋プラザ元気21で、こども広場が開催されました。これは群馬医療福祉大と同大附属リハビリ専門学校の生徒が中心になって企画したもの。会場には、菓子釣りや人間スゴロク、スライム作りなどで楽しむ子どもたちでいっぱいでした。



七夕まつりで各通り華やかに
中心市街地などで7月7日から10日まで、前橋七夕まつりを開催。各通りが華やかに飾り付けられ、大勢の人でにぎわいました。7日の全国七夕サミットでは7市が意見交換を行い、出席した仙台市に、復興を願って市民が折った千羽鶴を贈りました。